

管理手法としてのSMART、IDEAの指標

● Executive summary

1. **SMARTとIDEAはPDCAサイクルのcheckを検証可能な状態にする管理手法である。**
2. **SMARTはSpecific, Measurable, Action Plan, Responsibility, Time-boundの指標でPDCAを明確化し、組織全体の行動を効果的にする。**
3. **IDEAはImmediately, Display, Entirely, Alarmの指標で可視化し、目標設定をボトムアップで進め、会社の成長や改善を促進する。**

● 記事全文①

- PDCAサイクルのチェックをより検証可能な状態にするための手法、SMARTとIDEAについてご紹介いたします。
- **SMARTの指標は、PDCAサイクルを明確化するための有用な手段**となります。
 - ① **Specific**（具体的）：目標設定がMECE（Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive＝ムダなくもれなく）に分類されているか
 - ② **Measurable**（測定可能）：目標の達成を測定するための基準が設定されているか
 - ③ **Action Plan**（行動計画）：必要な行動が明確に計画されており、ボトルネックがないか
 - ④ **Responsibility**（責任）：関連する当事者が明確に定義されているか
 - ⑤ **Time-bound**（期限設定）：行動に対する期限が設定されているか
- これらの指標は、PDCAを実施する手段ではありますが、**明確かつ的確であると、組織全体の行動が確立**します。
- **初期段階においては、詳細にしすぎず大枠で実行**していくことが大切です。はじめから、細かく管理しようとする、継続できない場合が多いことに注意です。

● **IDEAの指標は、情報の可視化を図る手法として活用**されます。

- ① **Immediately**（即時性）：管理帳票や資料の更新頻度と確認が適切か
- ② **Display**（表示）：関係者全員が情報にアクセスできる状態か
- ③ **Entirely**（完全性）：目標と実績の乖離が明瞭か
- ④ **Alarm**（警告）：期限を過ぎた行動が一目で分かるか

● これらの指標により情報を整理することで、**問題を迅速に把握することが可能**となります。**留意点**として、**目標設定を過度にトップダウンで行うと、部下の負担が増える**可能性があります。

● そのため、**ボトムアップのアプローチで目標を設定し、社員の行動パターンと結びつけることで、改善を促進し、会社の成長やV字回復の成功例を実現**できます。

● **これら取り組み**を行うには、**胆力が求められる**かもしれません。しかし、実際には、これこそが**経営の本質**であると言えるでしょう。このような取り組みができない場合、経営者は熟慮すべきです。